

令和6年度

行政方針

(抜粋)

3月5日(火)開会の宿毛市議会定例会において市長が行政方針を表明しました。抜粋してお知らせします。

第1の理念 産業振興

農業分野におきましては、令和元年度に設立し、現在まで7名の研修生を受け入れております農業公社「スタートアグリカルチャーすくも」において、令和6年4月から新たな研修生1名を受け入れる予定となっておりますが、それに加えて、2名の新たな研修生の募集を行っております。今後も農業担い手の確保・育成を図るため、市内外から新規研修生の受入を積極的に行い、引き続き本市農業の活性化に努めてまいります。



スタートアグリカルチャーすくものハウス

林業分野では、地域おこし協力隊制度を活用し、自伐型林業の取り組みを推進するため、引き続き地域おこし協力隊員の募集を行ってまいります。なお、令和5年度においては1名が卒業し、本市において自伐型林家として活動を行っております。

また、令和6年度からは、森林環境税の徴収が開始されることに伴い、森林経営管理制度により、手入れがされていない森林の整備が適切に行われるよう取り組んでまいりたいと考えております。

水産業分野につきましては、すくも湾中央市場へ導入された高性能魚体選別機全3基が、本年度から本格稼働開始となり、選別速度および鮮度保持の向上や水産物の規格統一化を図ったことで、魚価の向上と漁業者の所得向上に繋がっております。

令和6年度はすくも湾漁協、宿毛市、大月町、高知県漁業指導所で組織する宿毛湾水産業再生委員会が策定しております「第3期 浜の活力再生プラン」の初年度となります。

電子入札システムの導入準備支援や地元水産物の販路拡大支援、漁業者の担い手確保および育成支援等を通じて、さらなる安定した市場運営や、漁業所得向上のための取組みを関係機関

で連携し、実施してまいりたいと考えております。

これら一次産業の基本は現場にあります。現場で日々汗を流し、苦勞をされている皆さまに寄り添いながら、後押しする事業を展開してまいります。

次に、地域の活性化や産業振興に大きく寄与する「ふるさと納税事業」では、新たな事業所の参加や新規返礼品の追加に加え、寄附金控除手続きのオンライン化の導入など、特産品のPRと寄附者の利便性向上を図り、2月21日現在で昨年の同時期の寄附額を上回る、6億4,259万円のご寄附を頂いております。

頂いたご寄附は、寄附者の想いを大切にしながら、今議会に提案してまいります「保育料完全無償化事業や、教育・福祉・健康促進分野、産業振興など様々な事業に活用させていただきます。

今後におきましても、より多くの皆さまに宿毛市を応援していただけるよう、新たなポータルサイト等を活用した特産品や地域資源のPRに努めるとともに、水産物をはじめとする新規返礼品の強化や、新たな事業所へのアプローチを行うなど、事業内容のさらなる充実を図り、寄附金額10億円を目指した取り組みを行ってまいります。

そして、防災や観光振興に資することはもとより、産業振興の視点からも重要な要素となる道路整備ですが、四国横断自動車道「宿毛内海道路」につきましては、令和4年度に「宿毛新港〜一本松間」が事業化となり、現在、道路設計が進められています。また、「宿毛和田〜宿毛新港間」でも令和6年度の事業化に向けた手続きが開始されました。

「宿毛内海道路」は、経済活性化のために必要不可欠な社会資本であるとともに、本市における防災上の観点からも「命の道」としての重要な役割を担う路線です。今後も国・県・関係機関との連携をさらに強化し、宿毛内海道路の早期事業化、早期整備に向けて全力で取り組んでまいります。

第2の理念 観光振興

本年度は、春の「観光びらき」に始まり、宿毛まつり実行委員会による「市民祭宿毛まつり」や4年ぶりに「土佐はし拳全日本選手権大会宿毛場所」が開催されるなど年間を通じて催しが開かれました。

令和6年度の取り組みとしては、「コナ禍が明けたことによる全国的な観光需要の高まりの波に乗り、全国から観光客を誘客できるよう、しっかりと本市をPRしてまいります。その中で、高知県が令和7年の大阪・関西万博の開催を見据えて進める「関西・高知経済連携強化戦略」の取り組みにある観光推進プロジェクトに關しまして、本市としてもしっかりと連携をして取り組んでまいりたいと考えています。

本市の核となる観光施設の一つである「宿毛まちのえき林邸」におきましては、3年ぶりに「宿毛郷土かるた大会」が開催され、小学生たちの賑やかな声に戻り、大いに盛り上がりました。また、本市の新たな秋の風物詩となりつつある「秋宵のあかり」や土佐の匠である濱中伸也氏の作品を展示した「組子細工展」など、合同会社ドラマチックによる様々なイベントが開催され、交流人口の増加はもとより市街地活性化の一翼を担ってくれております。この宿毛まちのえき林邸の指定管理者である合同会社ドラマチックは、幡多地域の社会課題解決に取り組む市民活動団体を支援していくコミュニティファンド「まちづくり財団HATA」を